

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

父の日に牛乳を贈ろう！
今年も全国各地でキャンペーンを実施！

第40回らくのうこどもギャラリー入賞作品紹介

嫁・婿が語る酪農の魅力／渡会 智花さん

購買部だより／DMSシステム 平成24年集計結果
酪政連活動報告



酪農トピックス／
“がんばろう東北の酪農”キャンペーンを開催！（仙台）ほか
後継者支援活動のイメージ
日本酪農見て歩紀（山形県上山市 木村清吉牧場）



7

2013 July No.574



全国酪農業協同組合連合会

夫婦二人の労働力に見合った酪農経営

7月の嫁

愛知県酪農農業協同組合渥美支所 渡会 智花さん



嫁が語る
酪農の魅力

14

— 渡会牧場の概要と「智花さん」の役割を教えてください。

私の牧場は、愛知県田原市にあります。所属農協は愛知県酪農農業協同組合渥美支所です。

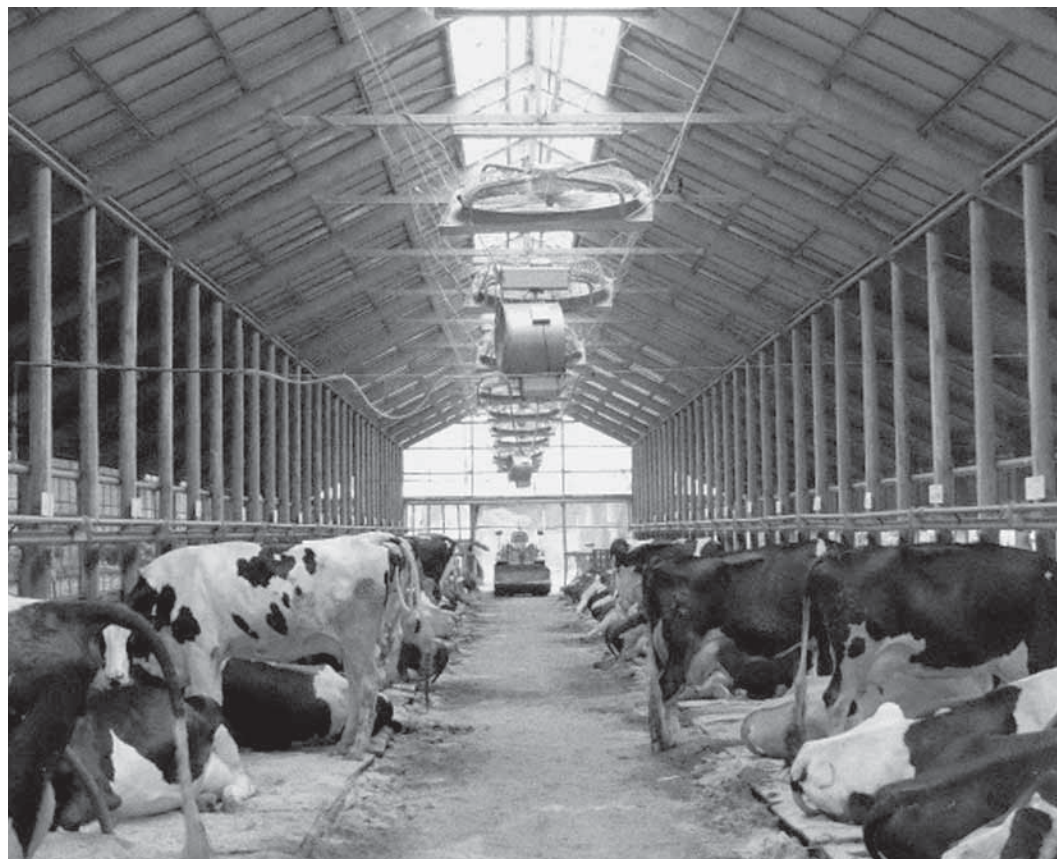
私の牧場は電照菊やメロンの栽培など有名な渥美半島の突端に程近い、渥美支所管内の地域で48戸の酪農家が営農しています。

現在、搾乳頭数は41頭、育成牛25頭を飼育しています。

自給飼料を現在15町の圃場で耕作（借地等を含む）しており、今後さらに年間給与を目指し近隣の耕種農家と連携しながら圃場の規模拡大を計画中です。草種は「ソルガム」を主に作付けし給与しており、これが購入粗飼料の軽減にも役立っています。

家族は、主人（寿彦…44歳）、私（智花…40歳）、長女（楓…18歳）、長男（省太…16歳）、次女（磨子…13歳）です。

主人は酪農経営に関わる全ての仕事に携わり、牛舎仕事をしています。私は、哺育・育成を主に担当し主人のサポートをしています。



牛舎

——結婚までの経緯・決め手となったことを教えてください。

最初の出会いは私がまだ高校生（18歳）の時でした。その後OLとして地元で化粧品メーカーの美容部員として会社務めをしながら3年ほどの交際期間を経て、めでたく結婚することになりました。

第一に主人の人を引き付ける明るい人柄に強く惹かれ、末永く安心して楽

しい明るい家庭が築けるだろうと考えたからでした。そして、この人なら私をきつと幸せにしてくれるに違いないと信じ、私は結婚を決意しました。

——結婚当時の酪農に対する思い・苦労したことを教えてください。

結婚当初は「牛」が怖かったです。よく牛に蹴られ、痛い思いをした記憶が今でも思い出されます。主人からは



智花さん・寿彦さん



愛車のバイク

「10年ぐらいは酪農の仕事はしなくてもいい」と、当初は言われていましたが、結婚するまで牛にはほとんど触れたこともない私でしたので、1年ほどは牛舎の作業もあまり手伝うことはありませんでした。しかし、当時は両親と主人で80頭近くの搾乳牛を飼養しており、だんだんと牛舎の作業も手伝うようになり、今では搾乳までの作業もできるようになりました。

——今思う酪農の魅力とは？

酪農の仕事は、毎日同じ仕事の繰り返しで365日休むことも出来ません。私は、このまま酪農を続けていけるのか、自信をなくしたこともありましたが、そんな時、夫婦の共通の趣味を何か持ちたいと思いつき、5年前に大型バイクの免許を2人で取り、今では仕事の合間を縫って、近郊にバイクでツーリングに出かけたりしてリフレッシュの時間を夫婦2人で楽しんでいます。

酪農はあくまでも利益を得る仕事（手段）であり、日々の酪農の仕事だけ

でなく酪農の仕事以外の時間を作り出せるのも酪農の魅力だと思っています。夫婦2人の労働力に見合った酪農のスタイルを夫婦2人で工夫して作り、将来も安定して継続できる酪農を、魅力ある仕事にしていきたいと考えています。

——今後の夢

現在、長男・省太が酪農を継いでくれると既に意思表示してくれていることを、夫婦2人でほんとうに嬉しく心強く感じています。

今後も、夫を支え夫婦2人で現在の労働力に見合った酪農経営を継続していきたい、近い将来、省太と一緒に酪農の仕事が出来たら本当に幸せだと思います。そして、夫婦2人でバイクでツーリングを楽しむ時間をたくさん作れるよう、酪農経営にも積極的に取り組みたいと考えています。

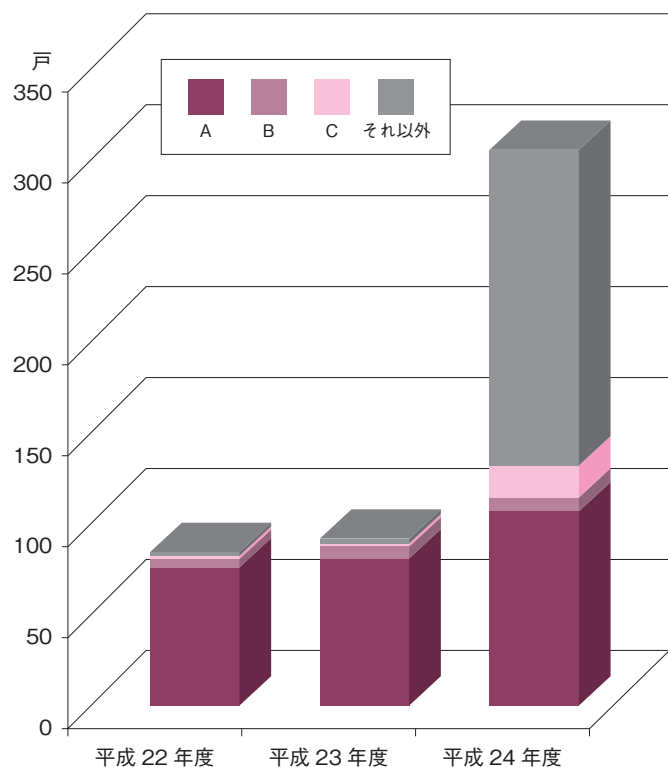
DMSシステム 平成24年集計結果

1 DMSシステム参加農家が 300戸を超えました

DMSシステムは、今年で6年目に突入しました。年々参加者が増加し、平成25年4月1日時点では306戸となっています。

図は参加農家戸数の推移をプラン別に集計したものです。「Aプラン」は本会が紹介している会計ソフト（『e 酪農経営』）を酪農家自身が入力するプラン、「Bプラン」は記帳代行を依頼するプラン※注1、「C

図 DMS システム参加農家戸数（H25 年 4 月 1 日付）



	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A	76	81	106
B	5	7	9
C	1	2	17
それ以外	2	3	174

プラン」は記帳代行に加え申告書の作成を税理士に依頼するプランとなっています。「それ以外」はDMSシステムのデータベースを利用した経営分析及び経営検討会の依頼を受けた戸数を表しており、平成24年度には174戸と大幅に増加しております。「それ以外」が増加している要因には、①経営分析や経営計画作成の要望の高まり、②経営継承に関する相談の増加、③法人化に関する相談の増加があります。この「それ以外」を経て、A〜Cプランに移

行される方もおられます。

注1…Bプランにつきましては平成25年度以降の新規受付を中止させていただいております。なお、記帳代行を依頼される場合は、Cプランにてお願いいたします。

2 酪農経営の状況 （平成23年と24年の比較）

表は平成23年と平成24年のDMS参加農家の平均値を比較したものです。集計対象農家は①平成23年以前

からDMSシステムに参加しており、②東北大震災の影響が無く、③経理処理方法に変更がない農家です。両年とも同一の農家53戸を集計しております。

(1) 家族所得は12.4%減少

経産牛1頭あたりの家族所得はH23年103,341円、H24年90,576円（前年比▲12,764円／頭）となっており、12.4%減少していることが分かります。40頭規模の酪農経営では、家族所得が51万円減ったことになります。

表 酪農経営の変化

経産牛1頭あたり(円)

	H23	H24	差
牛群動態 / 主な指標			
経産牛頭数	58	63	5
育成牛比率	54.0%	51.0%	3.0%
更新率	26.5%	25.5%	▲ 1.0%
死廃率	11.6%	11.5%	▲ 0.1%
乳飼比	52.7%	56.8%	4.1%
家族所得率	9.1%	8.0%	▲ 1.1%
総収入	1,018,707	1,049,209	30,502
生乳売上高	846,982	889,066	42,084
肉用子牛売上高	54,401	60,174	5,773
廃用牛売上高	13,985	16,102	2,117
その他売上高	19,612	13,033	▲ 6,579
雑収入	83,727	70,834	▲ 12,892
総支出	915,366	958,632	43,266
雇人費	27,942	28,916	974
飼料費	458,605	511,198	52,593
診療衛生費	19,281	17,599	▲ 1,682
動力光熱費	42,924	41,917	▲ 1,007
共済掛金	36,319	34,857	▲ 1,462
修繕費	29,954	31,364	1,410
支払利息	5,068	4,314	▲ 753
減価償却費	138,833	132,440	▲ 6,394
その他経費	156,440	156,027	▲ 413
家族所得	103,341	90,576	▲ 12,764
フリーキャッシュ	169,224	158,985	▲ 10,240
借入金償還額	85,705	95,180	9,475
キャッシュ残 (家計、税金支払い、再投資に利用)	83,519	63,805	▲ 19,714

注1：集計農家は東電賠償に関わる農家を除いた53戸である。

注2：各年、同じ農家をサンプリングしている。

注3：フリーキャッシュ＝家族所得＋減価償却費－育成振替高＋廃牛売却原価である。

注4：その他経費は「種苗費」「肥料費」「農具費」「作業衣料費」「賃借料」「諸材料費」「荷造り運賃手数料」である。

経営継承、法人化、規模拡大の相談が増えてきました。DMSシステムに協力していただいている森税理士と協力しながら、税務上の課題にも積極的に取り組んでいきます。また、会員担当職員、本会職員への研修機会を増やし、ますますDMSシステムの体制を強化していきます。今後のDMSシステムに注目ください！

DMSシステムで紹介している会計ソフト『e酪農経営』をSaaS化する準備を進めています。SaaS化とは、インターネットで利用できるソフトのこと、データをインターネット上に保存することになります。個人情報、複数の同時ログインが可能になることからサポート体制がさらに厚くなります。

3 これからのDMSシステム

見てみると、19,714円／頭フリーキャッシュ（使える現金）が減少していることが分かります。家族所得で見ると40頭規模で51万円の減少ですが、キャッシュベースで見ると78万円の減少となります。

借入償還額が増えていることが1つの要因です。減価償却費は増えていないので、運転資金を補うために借入金が増加していることが伺えます。

(2) 総収入は3.0%増加
家族所得の減少要因を調べるために、総収入と総支出の内訳を見ていきましょう。まず、総収入ですが、生乳売上高が42,084円／頭増加、その一方で雑収入は12,892円／頭減少しています。経産牛1頭あたりの生乳生産性は向上しましたが、補助金等が減少したことにより、総収入の増加は3%程度に

止まりました。
(3) 総支出は4.7%増加
総支出で最も増加率が高かったのが、飼料費52,593円／頭の増加です。40頭規模の場合、年間の飼料代が210万円増えたこととなります。飼料費以外の経費は減少しているものが多く、総支出の合計では43,266円／頭の増加に抑えられています。飼料費が増加していく

中、他の経費の削減に努力した酪農家の意識が伺えます。
(4) 投資を控えている
総支出の中でも、減価償却費の減少と修繕費の増加は気になるところです。酪農環境の不透明さから機械、設備、生物に投資が出来ず、修理等で目先を凌いでいる状況が伺えます。
(5) 資金繰りも悪化
酪農経営をキャッシュフローで

父の日に

牛乳ちを贈ろう!



今年も全国各地でキャンペーンを実施!

全国酪農青年女性会議による「父の日に牛乳(ち)を贈ろう! キャンペーン」が、6月16日(日)の父の日にむけて、地域の特色に合わせて全国各地で開催されました。

今月号では、各地で実施されたキャンペーンの一部をご紹介します。



北海道

北海道酪農青年女性会議は、6月3日(月)、6月12日(水)、6月17日(月)の3日間に、札幌市・千歳市・江別市の保育園、幼稚園を訪問しました。参加した委員達は、園児たちに牛乳へ親しみを持ってもらおうと、等身大牛タペストリーや牛の着ぐるみ、牛乳パックなどを使い、牛の大きさや一日の産乳量など、牛について分かりやすく話をしました。また、3園併せて200ml牛乳460個を配布しました。

6月3日に訪れた札幌大谷地幼稚園では、引頭委員長から「みんな牛乳をたくさん飲んでくださいね」と声をかけられると、園児たちは「はい」と元気よく答えていました。



住吉保育園



◀ 似顔絵(住吉保育園)



のっぽろ幼稚園



大谷地幼稚園



新潟



5月3日(金)、信濃川感謝祭やすらぎ堤川まつり2013において、「ミルクジャパン in 新潟」が開催されました。新潟県酪農同志会は、NST(新潟総合テレビ)社1階においてミルククイズコーナーを展開し、クイズ正解者に牛乳・クリアファイル・牛乳普及リーフレット等を配布しました。また、NST番組「スマイルスタジアム」に出演し、牛乳に関するクイズを出題、視聴者プレゼントを実施しました。信濃川堤防ではRYUTistライブ後に本人によるミルメークの配布も行われ、約800名に父乳キャンペーンをPRしました。

6月2日(日)には、新潟日報朝刊折込生活情報フリーペーパー「assh」のイベントである「asshフェスタ」が開催され、紙面に牛乳普及広告を掲載しました。新潟日報社屋1階においてもミルククイズコーナーを展開し、牛乳等を配布しPR活動を行いました。



岩手

岩手中央酪農青年婦人会議は、6月2日(日)に「岩手県歯科医師会館」で社団法人岩手県歯科医師会と盛岡市歯科医師会が実施する「8020運動」(80歳で20本の歯を…)とタイアップし牛乳の消費拡大を訴えながら牛乳・風船・ミルメーク等を配布しました。



栃 木

5月11日(土)、酪農とちぎ女性会那須南支部は那須烏山市山あげ会館の「第3回八溝そばまつり」において、リーフレット、メッセージカードを配りながら、牛乳とグレープ及びオレンジジュースを混ぜた「ミルク・オレ」や牛乳にイチゴジャムを加えてミキサーで混ぜた「ジャム・オレ」の試飲を行い、PR活動を行いました。

6月2日(日)には、栃木県酪農青年女性会議が県内の道の駅・スーパー等8ヶ所で一斉にPR活動を行いました。リーフレット、メッセージカード、ミルメークを配布しながら、「ちゅるりん」を混ぜた牛乳を試飲してもらいました。



▲ 道の駅しもつけ



▲ ヤオハン鹿沼北部店



アグリバル塩原

また、6月15日(土)においては、県民の日イベントに参加しPR活動を行いました。牛乳と「ちゅるりん」を混ぜて試飲、さらにミルメーク、リーフレット、メッセージカードを配布し、継続的な牛乳消費を喚起しました。併せて、栃木県知事へ各組合の牛乳を贈呈し、県民への牛乳消費拡大活動の協力をお願いしました。

茨 城

4月29日(月)、茨城県内のショッピングモールにおいて、第2回いばキャラショウが開催されました。

茨城県酪農青年女性会議では、ウシ君とともに来場者に缶バッジやチラシを配布し、「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーンのPR活動を行いました。



5月31日(金)、「6月は牛乳月間」のキャンペーンに合わせ、茨城県酪連大槻和夫会長他、県内乳業メーカーの代表者が、橋本昌知事を表敬訪問し、県内産牛乳の消費拡大をお願いしました。

また、水戸駅構内で牛乳や乳製品を販売するミルクスタンド(「ミルクスタ」)の前で、県畜産課及び県酪連職員が、買い物客や学校帰りの子供達にシールやチラシを配布し、PR活動を行いました。



埼 玉

埼玉酪農業協同組合は、4月23日(火)に埼玉県大里郡寄居町立男舎小学校を訪問し、子供達にグッズの配布を行い、「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーンのPR活動を行いました。



埼玉酪農業協同組合は、4月27日(土)に深谷市の埼玉県農林公園で「サクラソウまつり」に参加し、『父の日に牛乳(ちち)を贈ろう!』のPR活動に、キャンペーングッズの配布等を来場者に積極的に行いました。

群馬

スカイツリー下にある商業施設である東京ソラマチ1周年記念キャンペーンが、6月1日(土)～2日(日)にかけて開催され、イベントの一環で東毛酪農協主催の「東毛酪農 フレッシュミルク祭り」が開催されました。イベントでは、「牛乳の飲み比べ、低温殺菌牛乳の試飲、ナチュラルチーズの試食、カマンベールチーズの試食、搾乳体験コーナー」が開催されており、大変多数の来場者を迎え、ソラマチの中でも最も盛況だったように感じられました。



6月13日(木)～16日(日)の4日間、東毛酪農に隣接するジョイフル本田内にある「東毛酪農・ニコモール店」にて、キャンペーンを開催しました。

通常販売されているチーズセットの中にバッジを入れキャンペーン価格で販売したほか、お父さんの似顔絵ポスターを配布し絵を書いて持ってきてくれたお客様もいました。

少しずつですが、『父の日に牛乳を贈ろう』のキャッチフレーズとともに浸透してきているように感じました。牛乳の普及のために地道に活動していきたいと思います。

群馬県酪農青年女性会議連絡協議会は6月1日(土)～6月15日(土)にかけて、乳(父)の日キャンペーンを行いました。

6月1日(土)には、高崎市の多胡小学校で父兄綱引き大会が開催されました。小学生100名とその父兄が真剣に綱引きをして大いに盛り上がりしました。

運動の後には牛乳を飲んで疲れを取り、「ちゅるりん」も美味しくて好評で、「缶バッジ」や「シール」など受け取った子供たちも大喜びでした。

6月15日(土)に前橋市の駒形幼稚園で、父の日を前に小運動会を開催しました。参加者は190人とその家族。普段はお仕事でなかなか参加出来ないお父さんも、かけっこや親子競技をして楽しい時間を過ごしました。

その会場で「ちゅるりん」や「ミルク冊子」、「乳(父)の日カード」を配布し、園児が書いたお父さんの似顔絵を贈り、「家族でたくさん牛乳を飲もうね!」とアピールしました。



また、5月25日(土)～26日(日)「風ラインまつり」にて群馬県前橋市富士見町にある道の駅風ラインふじみにおいて、のぼりをおかけ、父乳キャンペーンを開催しました。



中部酪農青年女性会議

6月4日(火)、中部酪農青年女性会議は東海農政局を訪問し、消費拡大のPRを行うとともに森多可志東海農政局長へ牛乳贈呈を行いました。

清家英貴東海農政局次長の乾杯のご発声後、生乳の需給動向や最近の酪農情勢、東海地域の生乳生産等について意見交換がなされ、牛乳消費拡大へのアピールができた有意義な一日となりました。



牛乳の贈呈

意見交換 ▶



◀ 局長室にて



三重

6月14日(金)、三重県酪農女性会議は鈴鹿市出身の北京・ロンドンパラリンピック、金・銀メダリスト伊藤智也さんへの牛乳贈呈を行いました。

江尻委員長による牛乳についての説明のあと、参加者全員で乾杯を行いました。



牛乳で乾杯

◀ 乾杯準備できました



愛知

6月8日(土)、愛知県酪農農業協同組合青年女性部は父の日に牛乳を贈ろうキャンペーンとして、お父さんへのメッセージコンテストを実施し、優秀作品に選ばれたお宅を訪問し牛乳・乳製品の贈呈を行いました。

▼ 乳製品の贈呈



大家族で乾杯



岐阜

▶
インタビューを受ける大井委員長



▼ 県知事室にて



6月10日(月)、岐阜県酪農青年女性会議は岐阜県古田知事への牛乳贈呈を行いました。

当日は地元テレビ局も取材に来て、夕方のニュース番組で放映され牛乳消費拡大のアピールができました。



岡山

おかやま酪農協では、『牛乳月間』キャンペーンの一環として6月4日(火)に青年部・女性部が中心となり、伊原木知事に県産牛乳・乳製品を届けて消費拡大の協力をお願いしました。県庁食堂では、6月の毎週火曜日に「牛乳ラーメン」や「牛乳もち」をメニューに加えてもらい、牛乳の普及に協力を頂きました。また、県主催のスポーツイベント等に活用してもらいたいとの主旨で県産牛乳3千本の目録を贈呈しました。

中国四国農政局も訪問し、國弘局長に牛乳・乳製品を贈り、消費拡大をお願いしました。



県庁食堂チラシ



山口

5月31日(金)、山口県酪農青年女性会議は山口市内の酪農家を中心に関係者で山口市役所を訪ね、渡辺市長に牛乳とヨーグルトを贈りました。

山口県酪農青女の林委員長は「より安全で、より高品質な生乳生産に日々努めています」と伝え、それに対し「応援しているから頑張って」と激励の言葉をいただきました。その後、山口きらら牛乳と、きららヨーグルトを贈呈し、記念撮影を行いました。

会場にはマスコミ各社も取材に集まり、少しでも広く活動を知ってもらえるきっかけになりました。



6月1日(土)には山口市の「道の駅 仁保の郷」にて「MILK●JAPAN in 山口」を開催しました。当日はあいにくの雨でお越しになる方も少なく、実際の規模としては小さなものとなってしまいましたが、きらら牛乳の試飲や牛乳もちは好評で、消費者の方に良いPRができました。



鳥 取

牛乳パッケージ告知 ▶

大山乳業農協は、牛乳月間に合わせて白バラ牛乳パックの広告面に「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンの告知を初めて掲載し、6月中の販売を行います。

また、同組合酪農女性部・青年部は、今年度の新たな取り組みとして6月7日(金)にラジオ番組に出演して父の日キャンペーンの趣旨や牛乳の美味しさ等をPRし、その後米子駅前に出て牛乳の無料配布を行いました。6月11日(火)には、県知事を訪問し牛乳・乳製品を贈呈し県産牛乳の消費拡大に向けた活動に乾杯しました。

ラジオ出演 ▼



広 島



6月4日(火)、広酪メンバーズクラブ会員11名で中下善昭副知事と中本隆志県議会副議長を表敬訪問しました。

昨年から学校給食牛乳が県産100%になったことも含め、県産牛乳と乳製品のPRを行いました。中下副知事からは「酪農業への関心が高く、酪農現場も行ってみたい」と関心が寄せられました。中本県議会副議長訪問時には児玉浩議員も同席頂き、酪農情勢への理解を深めて頂きました。



愛 媛

6月13日(木)、愛媛県酪農業協同組合連合会 和氣茂太会長、田窪雅史常務、四国乳業株式会社 塩崎支配人、JAえひめ女性組織協議会 竹葉佳子酪農部会長らが県庁を訪れ、中村時広知事に牛乳・乳製品の詰合せを贈り、県産乳製品の魅力をPRしました。中村知事への贈呈を皮切りに、普及活動として、JA産直市やスーパーなどでのアンケート調査や、試食販売、老人・児童施設へ牛乳・乳製品を送るなど、県内各地で牛乳・乳製品の普及啓蒙活動を展開していく予定です。

また、期間限定で(6月28日まで)学校給食に県立と県動物園のレッサーパンダをデザインした牛乳を提供し、牛乳のイメージアップを図りました。



贈呈式参加者には他にJAえひめ女性組織協議会の水口ヒロミ副会長、京森文子副会長、愛媛県酪農後継者部会 冨永 優会長を含め計7名
愛媛県酪農経営者協議会



福 岡

ふくおか県酪西事業所青年女性部

6月9日(日)に地元少年野球チームの親善野球大会試合を訪れ、牛乳の贈呈を行いました。

また、6月16日(日)には糸島市の産直販売店「伊都菜彩」において、父の日キャンペーングッズの配布、牛乳の試飲等を行いました。



筑後事業所青年部女性部・飯塚支所青年部

6月6日(木)に地元の保育園を訪問し、子供たちに牛乳を贈りました。また飯塚支所青年部では6月19日(木)に地元の保育所を訪れ、牛乳の贈呈、牛乳に関するクイズやゲームを行いました。



朝倉事業所女性部

6月16日(日)イオン甘木店において、牛乳を購入頂いたお客さんに父の日キャンペーングッズの配布を行うとともに、ミルメークを入れた牛乳の試飲を行いました。また、塗り絵、似顔絵コーナーを設け、多くの子供たちが参加しました。





佐賀

佐賀県酪農婦人部連絡協議会は6月11日(火)～13日(木)までの3日間、佐賀市の『街かど畑』ほか2ヶ所において、父の日キャンペーンとして県産牛乳の試飲とメッセージカード・ミルマーク等をセットにして、買い物客に配布し牛乳のPRを展開。新聞等マスコミの取材もあり、牛乳月間における活動にみんなで取り組みました。



長崎

6月16日(日)父の日当日、長崎県雲仙市小浜町『小浜温泉 ジャカランダフェスタ』会場内において、父の日グッズの配布や、乳製品(牛乳200ml、ヨーグルト、ジャガアイス)の配布を行いました。



大分

6月16日(日)の父の日に、大分市内にある大型商業施設パークプレイス大分にて、「父の日だけに!?牛の乳搾りに挑戦してみよう!!」と題し、乳搾り体験を実施。搾乳牛1頭を配置し、約150人の子供を対象にイベントを行いました。日頃、見ることもない親牛の大きさに子供も大人も驚きを隠せない様子でした。

また、大分県酪農青年女性会議河合委員長のラジオ出演があり、笑いを交えたトークで牛乳をアピールすることができ、6月の牛乳月間に相応しい、充実したイベントとなりました。



宮崎

6月10日(月)県庁にて、県知事・副知事・畜産振興課に父の日キャンペーンで牛乳・乳製品の贈呈を桜木会長をはじめ10名の役員とで行いました。また、今からの時期多くなる熱中症にも牛乳は良いということをPRしました。



熊本



6月15日(土)には、県酪青壮年部女性部役員でゆめタウン光の森(菊池郡菊陽町)において牛乳の無料試飲会や父の日のPR活動が行われ、雨にもかかわらず、用意した800杯の牛乳は2時間でなくなり牛乳の消費拡大や酪農の理解醸成活動が展開されました。





鹿児島

鹿児島県酪農協本所青年部・女性部

6月11日(火)、鹿児島市の柴原幼稚園・保育園においてキャンペーンを実施しました。当日はバター作り体験や子牛ふれあい体験が行われました。また事前に配布した似顔絵用紙が教室に貼られ、6月16日(日)にお父さんにプレゼントされました。この模様は地元の民放各社が取材し当日夕方のニュースで放映されました。



大隅支所青年部・女性部

6月14日(金)に鹿屋市長を訪問し、牛乳・乳製品消費拡大キャンペーンを展開しました。



沖縄

沖縄県酪農青年女性部連絡協議会では、6月14日(金)高良倉吉副知事を表敬訪問し、新里菊也会長が挨拶を行い父の日キャンペーン、牛乳消費拡大をPRしました。翌日には酪農家、県酪農協職員20名でイオン南風原店において牛乳試飲やミルク餅の提供を行い、大変好評でした。



酪政連活動報告

平成 25 年 4 月～ 25 年 6 月

日本酪農政治連盟

4/15	三役会議、合同委員会 ◆ TPP の現状と見通しについて農水省よりヒアリング ◆ TPP に関する今後の活動について	5/29	「消費税の円滑適正な転嫁に関する法律」説明会 ◆ 農水省主催で、法律の概要説明と意見交換
4/22	三役会議、合同委員会 ◆ 自民党酪政会会員への TPP に関する要請、情報交換	5/29	TPP を考える国民会議勉強会(幹事長)
5/9	TPP を考える国民会議 ◆ 米国調査団の報告、意見交換	6/4	三役会議 ◆ 今後の酪政連活動について
5/14	関東地区酪政連協議会総会 ◆ 議案はすべて承認 ◆ 総会終了後、都府県対策等の事業について説明(農水省)	6/6	自由民主党畜酪小委員会(委員長、幹事長) ◆ 配合飼料高騰に対する団体要請
5/22	「TPP における対米関係」勉強会【日本の畜産ネットワーク主催】 ◆ 酪政連は 41 人、全体で 200 人余りが出席 ◆ 米国における新しい情報等あり	6/14	東北選出両院議員会合 ◆ 酪政連東北ブロック協議会にて団体要請

第40回

らくのうこどもギャラリー



入賞作品紹介



特選

豊富小学校(中部) 3年
清水 胡遥

大きな眼や耳、画面からはみ出た口など牛さんの顔の特徴が的確に捉えられています。あっさりとした簡素な印象ですが、今にも動き出しそうな躍動感をはらんだ魅力的な絵に仕上がってます。

全国酪農青年女性酪農発表大会と共に開催している「らくのうこどもギャラリー」も記念すべき40回目を迎えることができ、今回は全国から377点の応募がありました。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。今年の審査は、昨年に引き続き宮島径先生(フォトグラファー)と浅野智先生(画家)にお願いしました。

全体の作品について

本年も「らくのうこどもギャラリー」に多数御応募いただきありがとうございました。総応募点数377点の中から12点の入賞作品を選出させていただきました。

今年の応募作品は、例年にも増して趣向を凝らした絵が多かったと思います。いろいろな画材を駆使するなど子供らしい発想や遊び心が感じられました。一方で、過去の入賞作品のスタイルや技法に傾倒するあまり、自分らしさが出せなかった作品もありました。

今回特選の清水胡遥さんの作品は、両審査員納得のダントツ1位で選出されました。画面からはみ出したお顔や省略された体など絶妙なバランスを感じさせる傑作です。今にも動き出しそうな牛さんのお顔は見るものを引きつけて止まない魅力があります。入選の石澤愛さんの作品は、特選に相應する完成度の高い作品です。中学生ならではの観察力があり、画面構成に安定感がありました。入選の横山恵也さんの作品は、細やかな色使いに眼を奪われました。

入賞した作品はどれも作者の独特な愛着が感じられ、画面に説得力があったと思います。今後も自分なりの作品作りにチャレンジしてほしいと思います。

最後になりましたが、「らくのうこどもギャラリー」40回目をお祝いするとともに、作品制作に協力していただいた酪農家の皆様、ご指導いただいた先生方、そして関係者各位に深く御礼申し上げます。

宮島 径/フォトグラファー(みやじま・けい)

1967年 長野県生まれ
1991年 東京藝術大学美術学部芸術学科 卒業
1993年 デーリマン写真部入社
1997年 フリーランス・カメラマンとなる

個展：2002年 「surface」(PLACE M、東京)
2006年 「世界のしくみ」featuring
麻里布栄 (PLACE M、東京)
2010年 「日照時間/The Daylight
Hours」(ギャラリー蒼穹舎)

浅野 智/画家(あさの・さとし)

1964年 神奈川県生まれ
1991年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業
1993年 東京藝術大学大学院美術研究科絵
画専攻(油画)修士課程 修了
1997年 第5回 風の芸術展 ビエンナーレ
まくらざき 賞候補
2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞
2001年 第12回 関口芸術基金賞 大賞
その他 個展、グループ展多数
NPO法人with ART 代表理事



入 選

牧草ロールと牛

馬場川小学校(北海道)5年
横山 恵也

つぶらな瞳が印象的な水彩画の作品です。牛さんの黒色の部分に紫や青など様々な色を巧みに使って色彩に幅を持たせています。牧草ロールの干草の乾燥した表現にも色使いやタッチに独創性を感じられます。



入 選

やったー！仲間が増えたよっ！！

福岡中学校(東北)1年
石澤 愛

牛舎での作業風景と牛さん親子の仲睦まじい関係を中学生ならではの計算された構図によって表現されています。丁寧な描写で完成度の高い作品です。



入 選

シルビアとあそんだよ

大家小学校(関甲信)1年
佐久間 紬

画面いっぱいに牛さんの大きさを表現した迫力ある作品です。力強いタッチでしっかり描いています。足先の細かい部分までよく観察しています。女の子の笑顔が良いですね。



入 選

仲良しな牛たち

男衾小学校(関甲信)5年
杉田 生璃

牛舎の中の様子がうまく描けましたね。人や牛さん、扇風機の配置に繊細さを感じます。バケツを持った後ろ姿のお母さんのファッションが絵に華やかさを与えています。



秀 作

福島第二小学校(東北)6年
遠藤 晃彦

牛さんを中心に、樹木や葉っぱがところ狭しと描かれた不思議な絵です。うねりをあげる樹木や増殖する葉っぱは牛さんの後ろ足を巻き込んでいます。生命力を感じさせる装飾的な作品です。



秀 作

みどりが丘小学校(関甲信)1年
井上 愛香

大きな口を開けて牛乳を飲む子供の姿が印象的な作品です。後方では牧場での牛さんとの触れ合いが描かれ、元気を感じさせる楽しい絵に仕上がっています。



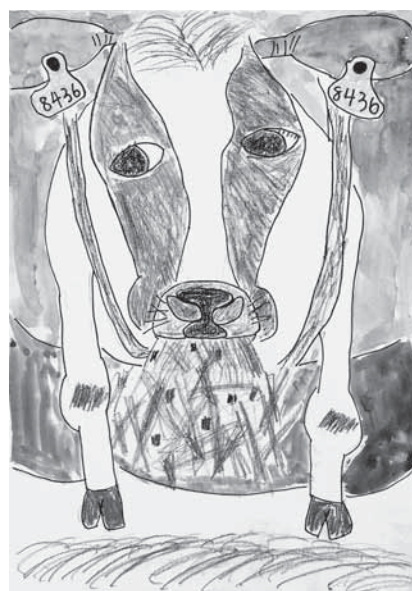
ファミリー賞

草をたべているおやこ

中川小学校(西日本) 1年

鳥越 瑞希

草を食べている牛さん親子が花やワンちゃんに囲まれていて楽しい感じに描けました。クレヨンでしっかりと形をとった後、水彩絵の具を使って仕上げています。牛さん親子の表情がとても印象的な微笑ましい作品になりましたね。



秀作

大好きな牛

山之口小学校(九州) 5年

原田 清花

大好きな牛さんを正面から堂々と描いた作品です。食事をしている様子が臨場感豊かに伝わる秀作です。ペンや水彩絵の具、クレヨンなど複数の画材を上手に使って描いています。



あすなろ賞

くいしんぼうなうしさん

大野幼稚園(東北) 5歳

鈴木 里桜

大きな牛さんが画面いっぱいに描けましたね。顔や足、しっぽなどを描いた白色の筆跡が心地よいです。斑紋の黒色もクレヨンの強弱や濃淡によってうまく描き分けられていますね。



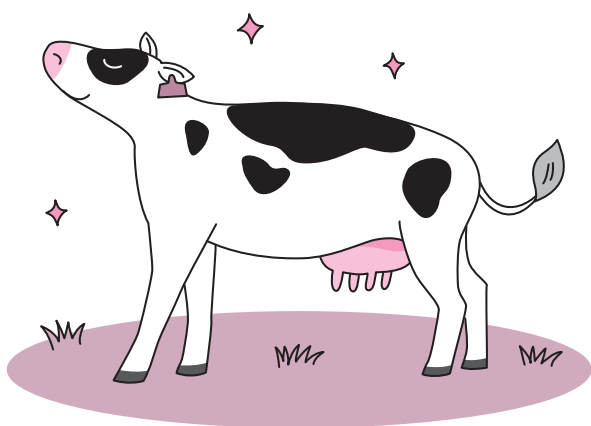
ファミリー賞

牛かわいいな。あったかかったよ。

大家小学校(関甲信) 3年

長井 奏美

牛さん親子と遊んだ楽しげなひとときが伝わってくる絵です。エサをあげたり、乳をしぼったり、子牛さんに触ったりした経験が絵にうまく反映されています。今回は背景にもこだわってみましょう。



あすなろ賞

ぼくじょうでちしほり

希望ヶ丘幼稚園(東北) 5歳

遠藤 結

笑顔の牛さんがかわいい元気いっぱいの作品です。水彩絵の具をたっぷり使っているため画面に迫力が出ています。躍動感のある色彩豊かな楽しい作品ですね。

札幌
支所発

第20回乳用育成牛委託販売研究会総会開催

5月29日(木)に十勝のホテル大平原にて第20回乳用育成牛委託販売研究会総会が開催され、道内の農協担当者、受入農家、本会職員など29名が出席しました。

総会では24年度事業報告並びに収支決算、25年度事業計画並びに収支予算案などが議題としてあり、すべてが承認されました。また、全酪連のホームページ内に預託事業のページが開設されたことについて告知がありました。今後も預託牧場の紹介など、内容の拡充に努めていくことが報告されました。

(T.K)

谷田会長 ▶



▲ 会議の様子

仙台
支所発

“がんばろう東北の酪農”キャンペーンを開催！ — 東北酪農青年婦人会議 —

6月15日(土)、東北酪農青年婦人会議（半澤善幸委員長）は、渋谷区少年団体連盟（鈴木貴代子会長）と宮城県牛乳普及協会（濱田茂会長）の協賛及び公益財団法人 児童育成協会 こどもの城（藤田興彦理事長）の協力のもと、東京都渋谷区にある「こどもの城」において、東北の酪農の現状を消費者に、酪農家や関係者が直接訴える“がんばろう東北の酪農”キャンペーンを開催しました。

当日は、半澤委員長が「私の主催する催事には雨が降らない」と豪語するように、曇り空から昼過ぎには暑すぎる太陽で遮る帽子が必要なくらい良い天気



試飲の様子 ▶

◀ 帽子作り



に恵まれました。

この催しは、昨年に引き続き、東北管内で製造された牛乳乳製品の試飲・試食と牛乳パックを利用した帽子作りや「酪農家の一日」「あなたの知らない牛乳の力」等の展示が行われました。今年は東北酪農青年婦人会議だけでなく、渋谷区少年団体連盟の役員、宮城県牛乳普及協会のキャンペーンキャラクター等と7月の全国酪農発表大会の意見体験の部で発表する佐藤みゆきさん、お子さんの千佳子ちゃん、そして関東甲信越酪農青年女性会議の事務局と多くの人達に支えられ、約3,000人の人達に東北の酪農の現状を理解して頂き、また、温かい励ましの言葉をたくさん頂き盛会裏に終了することができました。

これもひとえに、こどもの城の松下課長さんをはじめスタッフの皆様のお陰と感謝しております。(N.T)



▲ 牛と千佳子ちゃんと横断幕

仙台
支所発

生産者乳価値上げに係る要請！ — 東北酪農専門団体協議会 —

6月10日(月)、東北酪農専門団体協議会（原田陽一 会長、山形県酪農業協同組合 代表理事組合長）は、東北生乳販売農業協同組合連合会（東北生乳販連（但野忠義 会長、福島県酪農業協同組合 代表理事組合長））に対し、平成25年度生産者乳価値上げについて要請活動を行いました。

原田会長は、「最近の酪農経営を取り巻く情勢は、



▲ 左から 伊藤専務・但野会長(生乳販連)と原田会長・濱田副会長(酪専団)

昨年の米国の早魃の影響から配合飼料価格は高騰し、為替相場は政権交代を機に急激な円安に移行し、輸入粗飼料全般の高騰を招きました。また、円安は飼料のみならず、燃料や電気料の値上げにも直結し、生乳生産コストを大きく引き上げる要因となり、酪農経営が大きく圧迫される状況になっています。一方、TPP参加交渉が正式に承認され、酪農業界にとっては、今後の動向が危惧される状況になってきています。ついては、東北の酪農生産者として、指定団体の東北生乳販連にしっかりと乳価値上げ交渉をして貰うよう全面的にバックアップしていきたい。消費の動向にも注視し、皆で東北酪農の強化に向け一致協力していきたい。」と述べました。

東北生乳販連の但野会長は、「東北の酪農生産者の熱き思いを胸に、頑張って乳価交渉に臨みたい。」と述べられました。

(N.T)

名古屋
支所発

高山市長へ牛乳贈呈 — 飛騨酪農青年部・女性部・高山市酪農振興会 —

6月の牛乳月間のPRと「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう」キャンペーンを併せて、飛騨酪農青年部・女性部・高山市酪農振興会の役員の皆さんが6月13日(木)に高山市長室を訪問しました。生産者として今の酪農の現状、米農家と酪農家が提携して地域で地元産の餌を作っている事等を伝えました。また、なみなみと注がれた牛乳をグイッと飲み干しヨーグルトも試食して頂きました。

その後、ロビーにて Hits FM の番組「市役所からこんにちは」に野添さんご夫妻が生産者として生出演し、ナビゲーターと市長との

▶ ヒットネットTV
(ケーブルテレビ) 出演



Hits FM ラジオ出演 ▶



高山市長室表敬訪問

かけあいで「熱中症の予防にもなるから市民の皆さん、是非飲んで下さい！」と飛騨の牛乳が新鮮で安全な事をPRいたしました。

また、大勢の応援団と共に、市民の皆様にキャンペーングッズの配布も実施しました。

更に、ヒットネットTV（ケーブルテレビ）の「週刊高山ニュース」にも出演しました。

市長表敬訪問・ラジオ・テレビ出演と忙しい中にもとても充実した1日となりました。

(M.I)

大阪
支所発

第1回「牛乳が好き。」 MILK・JAPANフォトコンテスト受賞作品決定

中国四国農政局は、酪農理解醸成等を図る観点から第1回同コンテストの作品を募集していましたが、受賞者を決定し、5月31日(金)農政局において表彰式が行われました。弊会を初め酪農関係組織が後援しました。受賞作品並びに受賞者は以下のとおり。

最優秀賞（中国四国農政局長賞）

部門	作品名	受賞者
A牛乳の部	「湯あがり牛乳」	山西 愛（愛媛県松山市）
A //	「母から子へ」	鳴坂 規子（香川県高松市）
Bふれあいの部	「でっかいお乳だなあ」	河口 毅（岡山県岡山市）
C酪農教育ファームの部	該当作品なし	

優秀賞

賞	作品名	受賞者
中央酪農会議会長賞	「たくさん あげるの」	安原 幸恵（広島県三原市）
中国生乳販連会長賞	「むぎゅ♡」	関谷 敦子（山口県山口市）
四国生乳販連会長賞	「ん〜♡ミルクのいい香りがするぞぉ〜♡」	石村 歩果（愛媛県四国中央市）

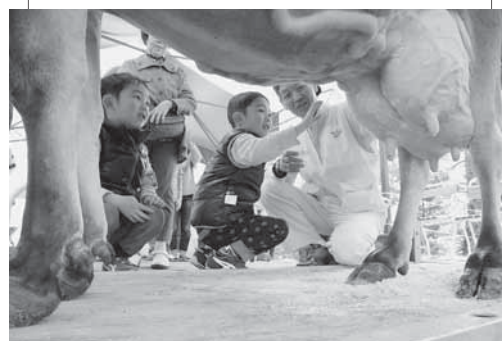
他に審査員特別賞に10作品が表彰されました。



▲ 山西 愛(最優秀賞)



▲ 鳴坂 規子(最優秀賞)



▲ 河口 毅(最優秀賞)

福岡
支所発

「ハッピーミルクフェスタ2013」開催される — 九州生乳販売農業協同組合連合会 —

“牛乳の日”の6月1日(土)、福岡県糟屋郡「イオンモール福岡 イーストコート」において、九州生乳販売農業協同組合連合会（尾形文清代表理事会長、以下 九州生乳販連）主催による牛乳消費拡大PRイベント「九州Love Milk Club presents FM Fukuoka ハッピーミルクフェスタ2013」が開催されました。

このイベントは、消費者に生産者の生乳作りに対する真摯な姿勢を伝え、生産者と消費者の距離の近さや九州産牛乳の安心感を訴求し酪農に対する理解醸成や牛乳消費拡大につなげる事を目的に開催されました。

当日、外はあいにくの雨天でしたが、そのことが幸いしてか早い時間から家族連れを中心に沢山のお客様が会場に詰めかけました。

会場内特設ステージでは様々なイベントが催されました。オープニングでは九州生乳販連 尾形会長によるトークショーが行われ、酪農家の1日の仕事、九州の牛乳の必要性や安心感、そして牛乳の日について説明され、ステージ前を埋め尽くした多くのお客様が尾形会長のお話に聞き入っていました。

続いて尾形会長と（一社）中央酪農会議の内橋政敏事務局長が審査員となり「牛乳ヒゲコンテスト」が行われました。年齢を問わずたくさんの方が参加され、一生懸命牛乳を飲んで“牛乳ヒゲ”をつけた姿に会場は大いに盛り上がりしました。この後ステージではお笑い芸人「ロッチ」のライブやミニコンサートが行われました。

会場では特設ステージでの催しの他、骨密度測定や牛乳の試飲コーナー、牛乳クイズが行われ、それぞれのコーナーには長蛇の列が出来ていました。また牛の等身大パネル、九州域内の乳業者が製造している牛乳パック、「酪農家の1日」パネルの展示や、地元福岡の酪農家の方々も加わり、来場者に牛乳に関する情報を載せたリーフレット配布が行われ、こちらも大変好評でした。また会場外には子牛とのふれあい広場が設けられ、家族連れを中心に多くの方々の子牛との触れ合いを楽しんでいました。

会場での様々なイベントを通して、九州の酪農、牛乳の魅力を多くの消費者の方々に伝えることが出来、「牛乳の日」にふさわしいイベントとなりました。

(Y.K)



▲ 尾形会長トークショー



▲ 牛乳ヒゲコンテスト



▲ 子牛ふれあい



▲ 展示物(九州の牛乳)

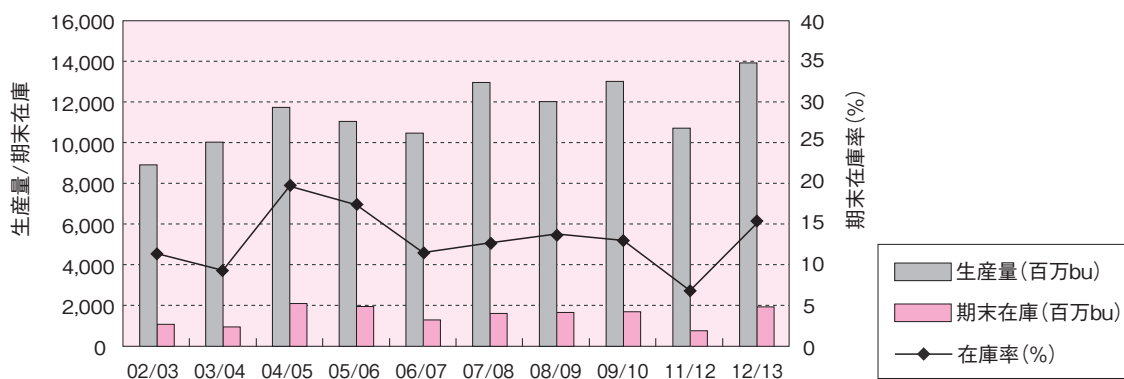


原料情勢

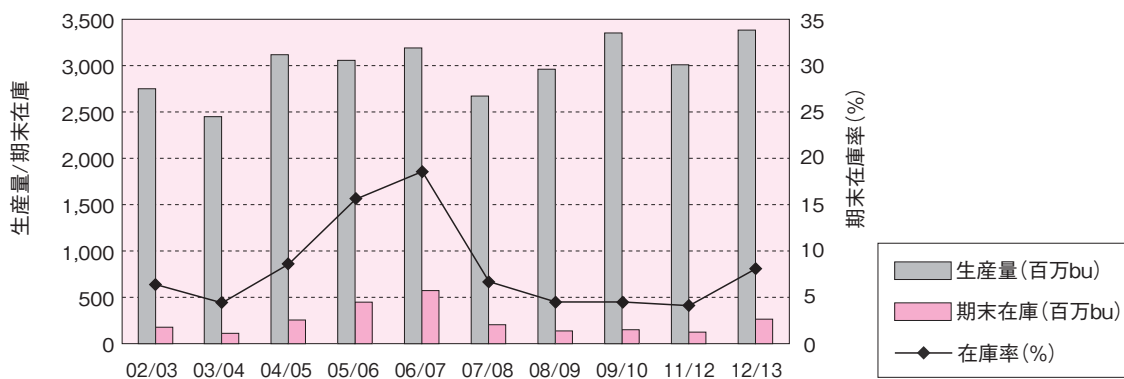
平成25年6月

6月12日発表 米国農務省トウモロコシ 需給予想	【12/13年産】 作付面積97.2百万(前月97.2百万) エーカー、単収123.4 (123.4) bu/ エーカー、生産量107億8,000万 (107億8,000万) bu、総需要量111億5,000万 (112億3,500万) bu、期末在庫7億6,900万 (7億5,900万) bu、在庫率6.9 (6.8) %。 【13/14年産】 作付面積97.3百万(前月97.3百万) エーカー、単収156.5 (158.0) bu/ エーカー、生産量140億500万 (141億4,000万) bu、総需要量128億5,000万 (129億2,000万) bu、期末在庫19億4,900万 (20億400万) bu、在庫率15.2(15.5)%。
トウモロコシ相場動向	5月上旬に630¢台前後の値動きをしていたが、エタノールの生産量の増加・在庫の逼迫、史上最高値を更新するダウ市場、米国中西部における大雨による作付遅延懸念などを背景に660¢台まで値を上げた。今後は、主産地である米国中西部の生育状況が相場に大きく影響を与えるものと思われる。作付進捗は6/9時点で95%であるが、残り5%で一部大豆等への転作が行われる可能性があり、こちらも注意が必要。
国内産大豆粕	米国産大豆需給予想の12/13年の期末在庫見通しは需給バランスに変化がなく、1億2,500万 (1億2,500万) bu、在庫率4.1(4.1)%と変化なし。13/14年の期末在庫見通しも2億6,500万 (2億6,500万) bu、在庫率8.1 (8.1) %と変化なく、落ち着いた相場となっている。国産大豆粕発生量は大豆搾油採算の改善により増える見込みだが以前の水準と比較すると低調なままである。需要は比較的安定しており、需給バランスはそれほど崩れてはいない。国産大豆粕価格については、在庫率の低さが意識され上昇傾向にあり、円安の影響も重なり強含みとなっている。輸入大豆粕についても現地価格が切り上がっており、国産同様強含みの展開となっている。
槽糠類	フスマの発生量は小麦粉の価格改定の影響から若干増加する見込み。しかし、使用量が減らず、需給は締まったままである。円安の影響から積極的に輸入する状況ではなく、今後使用量が増加すれば受け渡しに支障をきたす可能性がある。グルテンフィード発生量は増加傾向にあるが、需要も比較的堅調なため、在庫は例年ほど積み上がっておらず、むしろ減少する見込み。フスマの代替で使用量が増える可能性もあり、注意が必要。
海上運賃	南米の穀物輸出に関して約60日間の滞船等が見られるものの、中国での順調な降雨のおかげで水力発電が十分なことから石炭の需要が緩んでいることなどもあり、総じて横ばいで推移している。今年は北米産穀物の平年並みの輸出が見込まれており、欧米、極東向けに船腹の取り合いとなる可能性もあり、注視が必要となる。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成25年6月

北米コンテナ船 フレート	7-9月分のBAF（燃料費調整係数:燃料価格変動に対して調整される割増運賃）は、7月から概ね\$9の値下げが予定されている。PNWでは、引き続き空コンテナが不足している状況に変わりはない。また、北米では、加速する円安の影響を受け、日本に輸出される貨物の値動きが悪くなってきている。一方で日本からの輸入が急激に増えているわけではなく、日本の輸出企業の生産拠点の多くが海外にあることが伺える。
ビートパルプ	【米国産】昨年12年産の作付進捗状況は4月下旬で75%だったが、今年は積雪の多さから作付が遅れ、4月末時点でほぼゼロの状況。そのため、13年産の生産・出荷は遅れることが早くも懸念されている。砂糖の相場価格が低調に推移していることから、13年産の作付面積、生産量は減少することが予想されている。
アルファルファ ヘイ	【ワシントン産】コロンビアベースンでは13年産の1番刈の収穫が始まっている。5月下旬までに南部で80%、北部で30%収穫を終えている模様だが、南部では雨当たり被害が多く発生している。天候のタイミングを見計らって収穫されるスタックも雨当たり品となることや、生育が進んで刈遅れ品となることが懸念されている。全体像を把握するにはもう少し時間がかかる見込み。
	【オレゴン産】13年産の生育は順調で、クリスマス、クリスマス共に、例年よりも1～2週間ほど早く収穫が始まる見込み。
	【ネバタ産】5月下旬から13年産の1番刈りの収穫が始まっている。例年よりも2週間ほど早く収穫が始まっている模様。
	【ユタ産】今年の冬は長く、春になっても気温が上がらなかったため、13年産の生育は遅れ気味の模様。1番刈の収穫は6月上旬から始まる見込み。
チモシー	【カリフォルニア産】インベリアルバレーでは、13年産の3番刈りの収穫が始まっている。産地価格は昨年と比べてやや軟化しているが、UAEや中国向けが様子を見ながら買付けを始めている模様。北カリフォルニアでは、13年産の2番刈りの収穫が始まっている。1番刈りの雨当たり被害は10%以下と予想されているものの、天候のタイミングを見計らって収穫されたために刈遅れ品となっているスタックもいくらか発生している模様。
	【米国産】コロンビアベースンでは、南部の早い圃場で収穫が始まっているが、アルファルファと同様に、雨当たり被害や刈遅れ品の発生が懸念される。本格的に収穫される時期での天候の回復が望まれている。
スーダン	【カナダ産】ドライランド（中央アルバータ）では、5月下旬にまとまった降雨があり、生育は順調な様子。収穫は7月下旬から始まる見込み。レスブリッジ（南アルバータ）でも、生育は順調であり、7月上旬から収穫が始まる見込み。両産地とも、13年産の作付面積はほぼ前年並みと予想されている。
	【インベリアルバレー産】早い圃場では5月中旬から収穫が始まっている。気温はやや低めだが、生育は概ね順調。デュラム小麦の相場価格が軟調に推移しており、産地では小麦の作付面積が前年の半分以上となっている。そのため、13年産スーダングラスは早播きの作付面積が増える結果となっている。4/15時点で前年対比116%（25,091エーカー）だった作付面積は、農業用水の使用制限の懸念から、6/1時点で前年対比87%（45,659エーカー）となっている。早播きの作付面積が増えても、早播きの2番刈りや小麦収穫後に播種する遅播き（アフターウィート）の生産量は減少することが予想されている。
クレイングラス	インベリアルバレーの5/15時点での作付面積は前年対比115%の16,241エーカー。13年産の1番刈の収穫がほぼ終了しており、早い圃場では2番刈りの収穫が始まっている。農業用水の問題もあることから、今後は作付面積が減ることや、刈取回数を減らす圃場が多くなることも予想される。韓国向けは、韓国側で在庫が重めなこと、通貨ウォンが安くなっていることから、現時点では引合いが弱まっている。
バミューダ	インベリアルバレーでの作付面積は5/15時点で前年対比102%の50,139エーカー。年々上昇している種子価格は引き続き高値で推移している。ヘイの収穫も始まっているが、ほとんどが米国内馬向けに出荷される模様で、輸出向けのヘイが本格的に出荷されるのは7月下旬以降の見込み。
ストロー類	円安の影響から日本向けの引合いが弱まっていると伝えられているものの、12年産の米国ストロー類の産地在庫はほぼ売切れ（成約済み）となっているため、大きな値下げにはなっていないのが現状である。ライグラス（ペレニアル種）ストローの13年産の収穫は、7月中旬から始まる見込み。
オーツヘイ	西、南、東の全ての輸出向け産地で、ハイレード品がほとんどで中間・ローグレードの発生量が少なく、雨当たり被害を酷く受けた11年産と真逆の作柄となった。産地では、4月中下旬から13年産の播種が始まっている。西・南豪州では5月に降雨があった影響で順調に播種が行われている模様だが、東豪州では乾燥した状態が続いており、播種の遅れと、播種が終わった圃場での生育が懸念されている。この乾燥した天候の影響で、東豪州では国内向けの牧草価格が高騰していると伝えられている。キャノーラ（菜種）の相場価格が引き続き高値で推移していることから、13年産オーツヘイの作付面積は大きく減少することが早くも予想されている。



▲ 6/3 インベリアルバレー
スーダングラス検品スタック

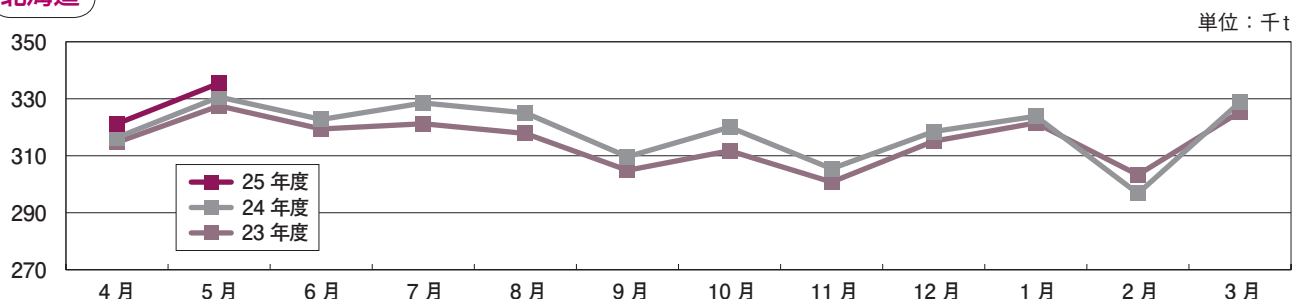
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

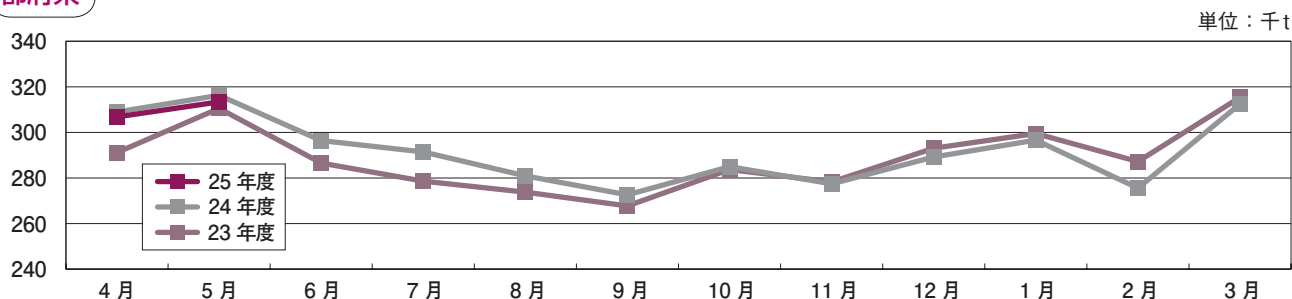
全国 648,856t で、前年同月に比べ 1,959t(0.3%) 増加した。
北海道 335,449t で、前年同月に比べ 4,828t(1.5%) 増加した。

都府県 313,407t で、前年同月に比べ 2,869t(0.9%) 減少した。

北海道



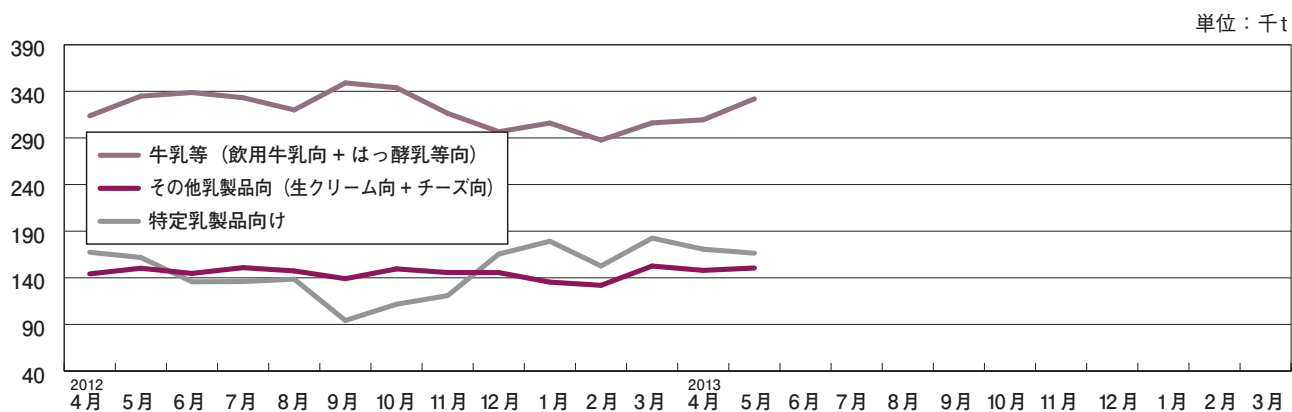
都府県



用途別販売数量

飲用向 288,240t で、前年同月に比べ 2,708t(0.9%) 減少した。
はっ酵乳向 43,701t で、前年同月に比べ 190t(0.4%) 減少した。
クリーム向 106,577t で、前年同月に比べ 1,004t(0.9%) 減少した。

チーズ向 43,918t で、前年同月に比べ 1,248t(2.9%) 増加した。
特定乳製品向 166,419t で、前年同月に比べ 4,615t(2.9%) 増加した。



各地の需給動向

* 前年比については、閏年修正を行っておりませんのでご注意ください。

【仙台】5月生産は前年比100.0%。当初見込み並の生産。飲用向けの需要は前年比97.5%と、4月からの減少トレンド並。一方発酵乳は前年比112.5%と、更に数字を伸ばした。

【関東】5月の生産は上旬は前年並みを維持したものの、中旬から下旬にかけて減少傾向。全体では前年比99.6%となった。一方で販売は、飲用向けが昨年の販売不振の裏返しで101.9%と、4月に引き続き前年を超えた。その結果、特定乳製品向けは99.4%と前年を下回った。

【東海】生産は5月に入り、日量・前年比ともに減少傾向。98.1%となった。

【近畿、中国、四国】生産は各産地とも中旬頃からの暑さの影響をうけて減少傾向。近畿95.4%、中国98.6%、四国98.2%。需要については、GW明け翌週頃より処理が伸び、当初見込みから上振れする乳業者も多かった。しかし、前年対比で見れば減少トレンドとなった。(飲用向：近畿94.7%、中国98.6%、四国98.3%)

【九州】生産は4月下旬をピークに減少傾向。4月までは前年を超えて推移していたが、5月は99.1%と2ヶ月ぶりに前年を下回った。販売は飲用牛乳向が98.6%、特定乳製品向けが103.7%と、4月のトレンド並となった。

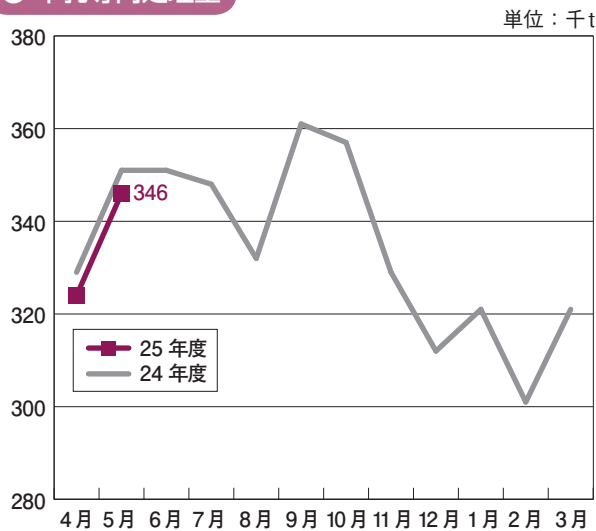
用途別生乳処理量

単位：千 t

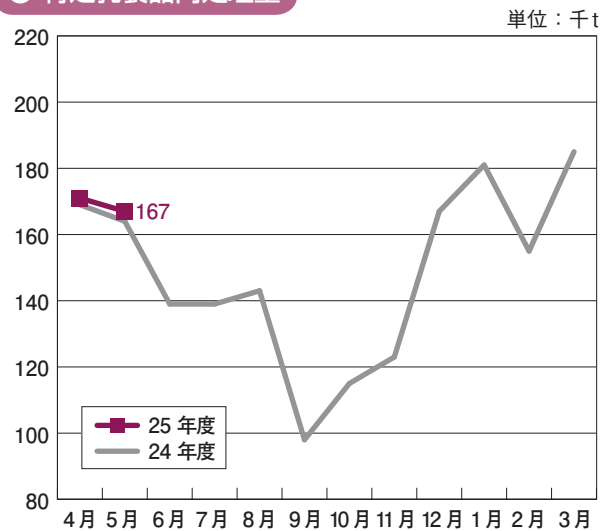
年月	生乳 生産量	用途別処理量計							年月	生乳 生産量	用途別処理量計						
			牛乳等向 ①	乳製品向		その他乳製品向						牛乳等向 ①	乳製品向		その他乳製品向		
				特 定 乳製品向 ②		クリーム向 ③	チーズ向 ④	特 定 乳製品向 ②						クリーム向 ③	チーズ向 ④		
2012. 4月	649	645	329	316	169	147	106	42	2013. 4月	650	645	324	321	171	150	106	44
5月	671	667	351	316	164	152	108	45	5月	671	666	346	320	167	153	107	46
6月	642	637	351	286	139	147	106	41	6月								
7月	644	639	348	291	139	153	111	42	7月								
8月	630	625	332	293	143	149	107	43	8月								
9月	604	599	361	238	98	140	106	34	9月								
10月	628	623	357	266	115	151	111	40	10月								
11月	605	600	329	271	123	147	109	39	11月								
12月	632	627	312	315	167	148	108	40	12月								
2013. 1月	644	639	321	319	181	138	96	42	2014. 1月								
2月	595	590	301	289	155	134	96	38	2月								
3月	664	660	321	339	185	155	113	41	3月								
年度計	7,608	7,550	4,012	3,538	1,777	1,761	1,276	485	年度計	1,321	1,312	671	641	338	303	213	90

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

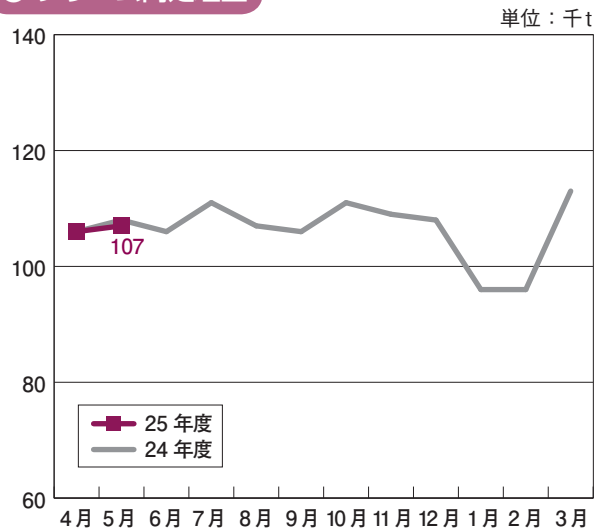
① 牛乳等向処理量



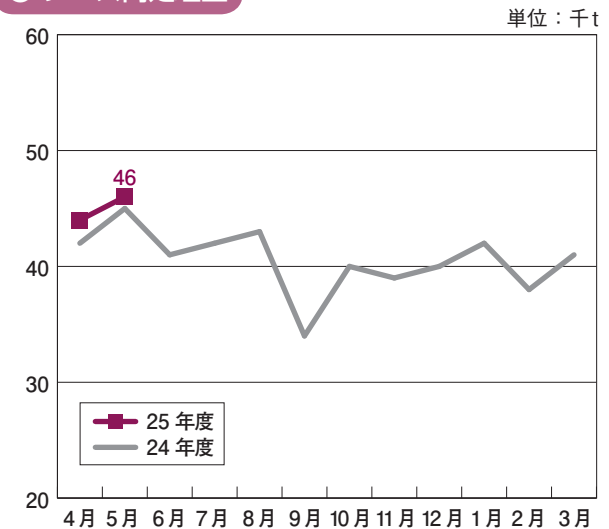
② 特定乳製品向処理量



③ クリーム向処理量



④ チーズ向処理量



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

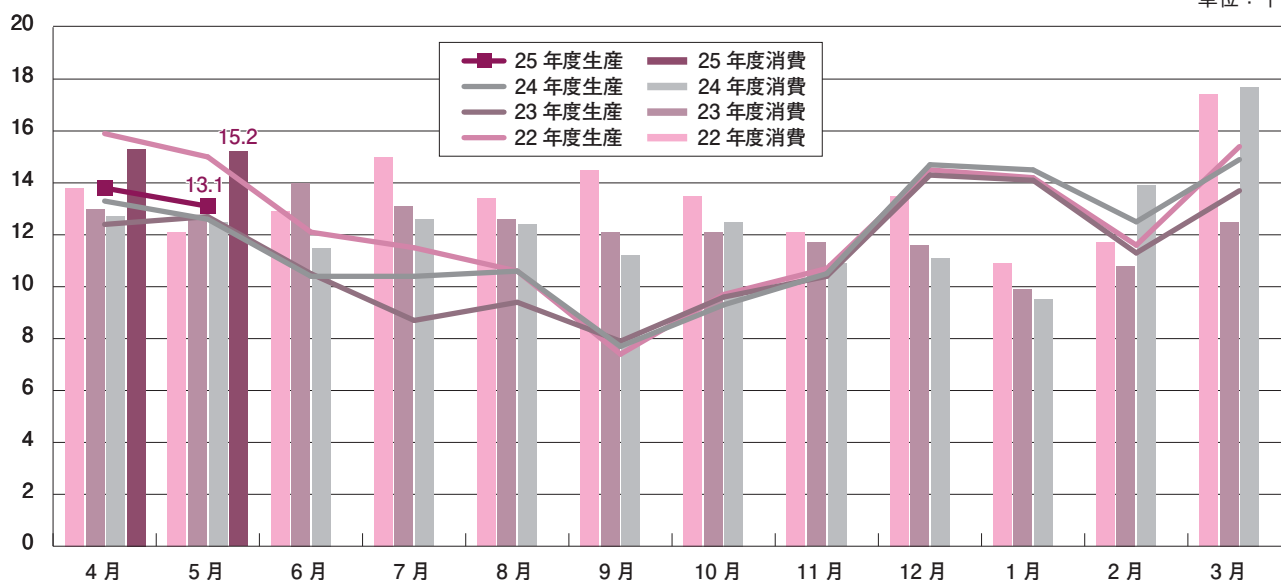
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2012. 4月	13.3	12.7	6.7	6.4	2013. 4月	13.8	15.3	7.0	7.9
5月	12.6	12.5	6.5	6.4	5月	13.1	15.2	7.0	8.4
6月	10.4	11.5	5.5	6.8	6月				
7月	10.4	12.6	5.4	6.2	7月				
8月	10.6	12.4	5.6	6.0	8月				
9月	7.7	11.2	3.7	5.8	9月				
10月	9.3	12.5	4.3	5.6	10月				
11月	10.5	10.9	4.8	5.7	11月				
12月	14.7	11.1	6.2	7.8	12月				
2013. 1月	14.5	9.5	7.6	4.8	2014. 1月				
2月	12.5	13.9	6.3	6.5	2月				
3月	14.9	17.7	7.4	8.7	3月				
年度計	141.4	148.5	70.1	76.7	年度計	26.9	30.6	14.0	16.3

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

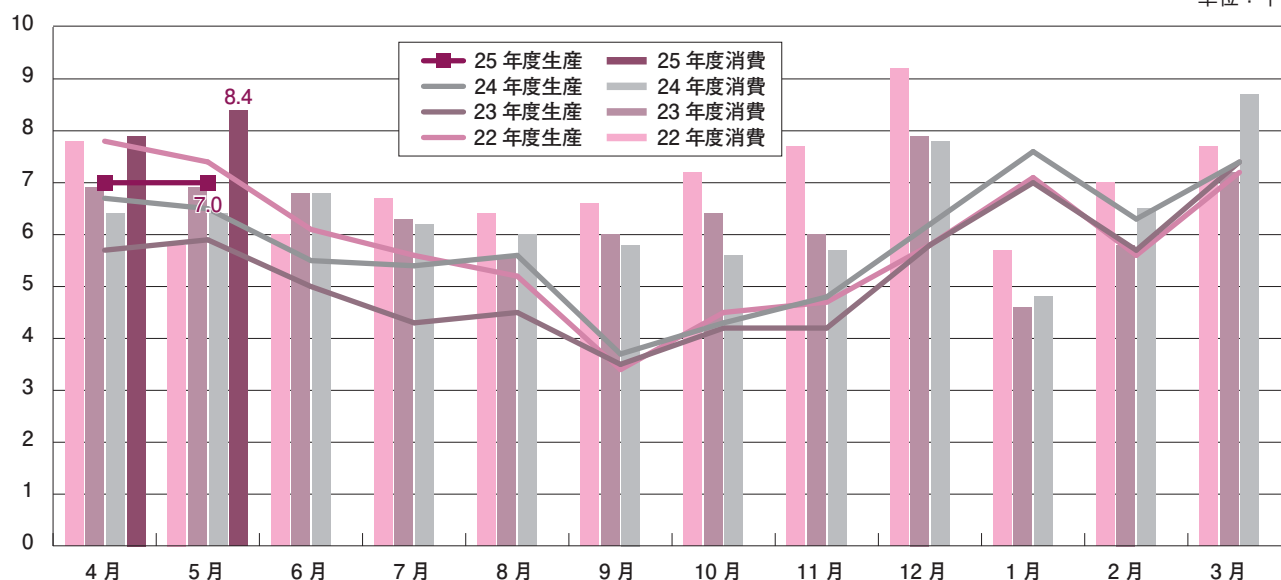
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

区 分	バター		脱脂粉乳		区 分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2012. 4月	19.4	1,116.2	48.2	580.80	2013. 4月	24.4	1,177	51.0	600.65
5月	21.5	1,122.9	48.2	580.99	5月	25.8	1,178	53.2	600.50
6月	21.5	1,132.4	47.1	580.69	6月				
7月	21.5	1,135.2	44.9	581.49	7月				
8月	23.2	1,145.7	43.2	588.53	8月				
9月	22.4	1,154.3	39.7	593.03	9月				
10月	21.3	1,155.2	36.7	595.73	10月				
11月	20.5	1,159.0	36.6	598.06	11月				
12月	19.0	1,161.0	40.3	597.52	12月				
2013. 1月	21.9	1,165.7	45.3	600.42	2014. 1月				
2月	22.2	1,174.3	46.7	600.11	2月				
3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34	3月				

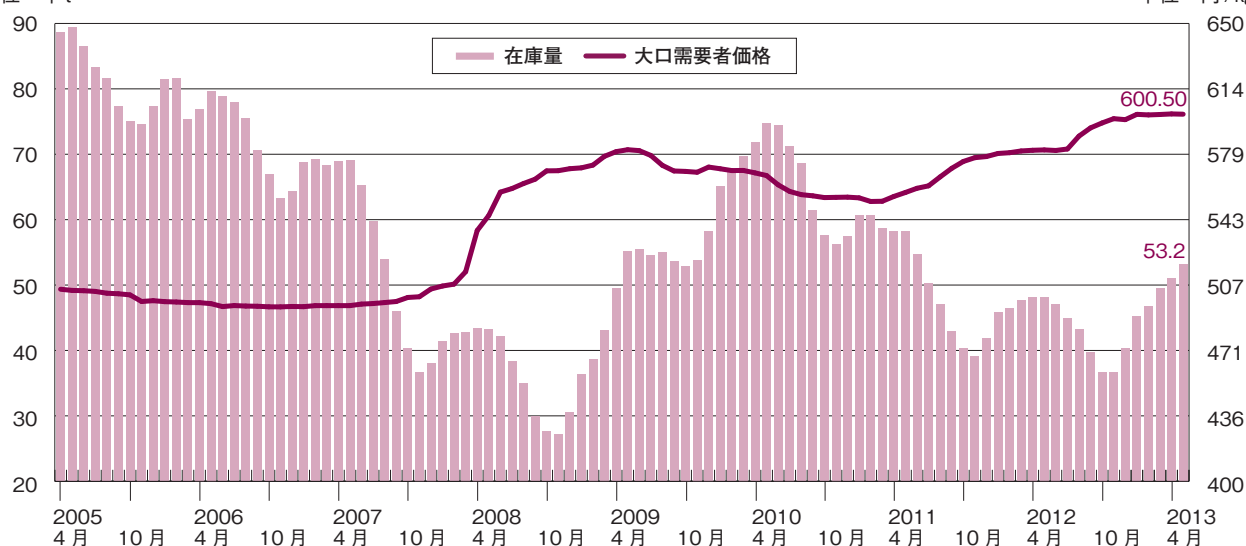
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

※単価は税抜き

脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t

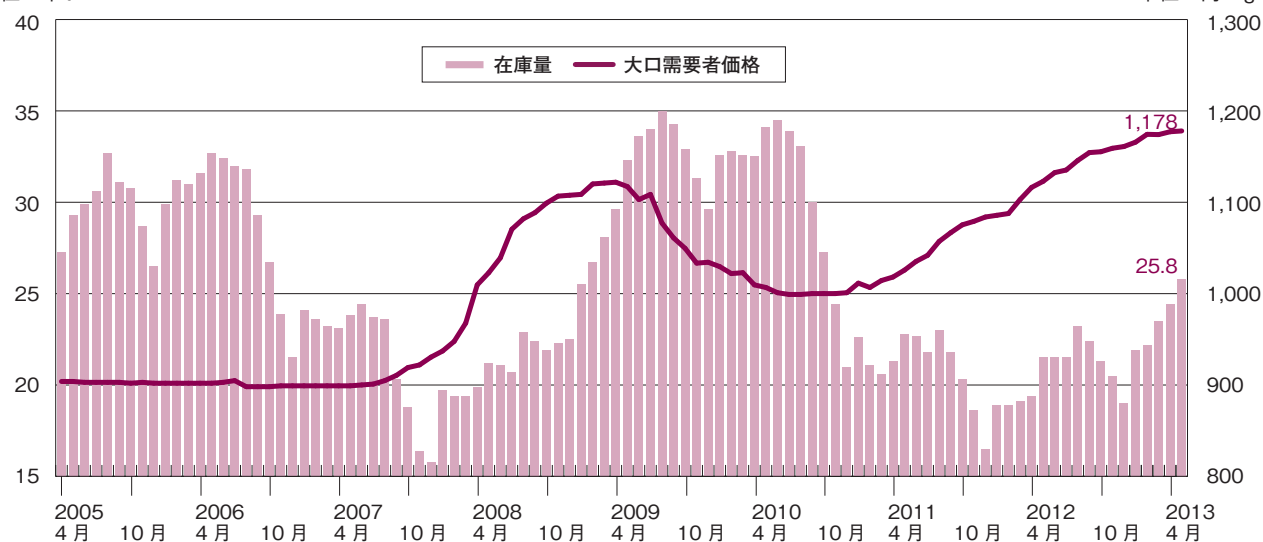
単位：円/kg



バター 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t

単位：円/kg





▲ 家族写真

No.242

木村清吉牧場

山形県上山市

飼料の質、 そして牛の質を高めたい

地域概況

今回ご紹介いたします木村清吉牧場「ヴィクトリアス・ランチ」が酪農を営んでいる上山市は、山形県南東部にある人口約3万4千人の市で、江戸時代には上山藩の城下町や羽州街道の宿場町として栄え、現在では温泉街としても広く知られており、城下町・宿場町・温泉街を兼ね備えた市は全国的にも珍しいとされています。

木村牧場が所属する山形県酪農業協同組合(原田陽一代表理事組合



牧場全景



群馬県

上山市

長は平成5年4月に山形県南酪農協、山形中央酪農協、米沢酪農協の3組合と、上山生乳生産連合会の1団体が合併し誕生しました。管内概況は平成24年度では105戸の酪農家が生乳を出荷しており、年間生乳生産量は約4万tとなっています。

経営概況

木村牧場は現在、経産牛55頭、育成牛16頭を飼養しており、この他に市内放牧場に22頭預託をしています。自給粗飼料生産に熱心に取組んでおり、オーチャード主体に35ha程作付けを行っています。平成24年度の出荷乳量は430t、直近の乳成分は乳脂肪率3.85%、乳蛋白質率3.21%、無脂乳固形分率8.61%、体細胞数9.7万、細菌数0.8万となっています。

牧場作業は主に、哺育を奥さんの



ラップ作業



堆肥舎

牧場の歴史

郁子さん、給餌作業を祖父の清美さん、搾乳作業を経営主の清吉さんと後継者の草太さんが担当しています。

養蚕、稲作、畑作を営んでいた祖父の清美さんが昭和34年頃に1頭のホルスタインを飼養したのが始まりで、清吉さんが小学生の頃には6頭を飼養し、初めてミルカー1台

を購入しました。その後も徐々に頭数を増やして来ました。現在の2代目経営主の清吉さんは、酪農学園短大を卒業し、2年間北海道恵庭市の清水勝さんの牧場で実習を行い、昭和53年に就農しました。牧場名の「ヴィクトリアス・ランチ」は実習先の清水勝さんから付けて頂いたそうで大変気に入っており、「実習当時に、いつかヴィクトリアスの冠名をつけた種牛を作りたいと語り

合った」と当時の話をしてくれました。

清吉さんが就農した時の飼養頭数は経産牛16頭、育成牛16頭でした。就農時から酪農1本で食べていきたいとの強い思いがあり、自分の家族を養うには30頭では足りないと考え、昭和63年に30頭分を増築、平成12年に20頭分を増築し現在の50頭対尻式つなぎ牛舎となり、さらに60頭の乾乳育成舎を建設し、順調に規模拡大を進めてきました。

清吉さんが結婚してから、全酪連職員の農場実習先として新入職員を受け入れて頂き、これまでに5人の職員が木村牧場で農場作業を経験させてもらいました。

経営方針

●自家繁殖、自家育成

種付けは基本的にホルスタインで、初妊牛は年間10頭程を更新牛として牧場に返し、その他は販売しています。外部からの導入は行わず、過去の牛舎増築時も含め、全て自家産牛で飼養頭数の増加を図ってきました。最近では雌の出生が少なく、の事で雌雄判別精液も利用しています。初任牛として販売する牛には和牛も種付けしており、ニーズに応

じて選別しています。

●粗飼料基盤に応じた飼養頭数

自家産牛で飼養頭数を増やす度に自給粗飼料生産基盤も増やしてきており、牧場名にある「ランチ」は広大な平原の様な酪農を目指す清吉さんの経営スタイルは、輸入飼料価格などの外的要因に左右されにくい経営となっています。

糞尿処理も近隣の耕種農家とうまく連携がとれています。

高品質乳生産

木村牧場では安全・安心な生乳生産活動の確立と高品質乳の生産を



乾乳育成舎



牛舎内

目指し、徹底した生産管理と衛生管理に努めており、結果として大変すばらしい乳成分を維持しています。搾乳作業も非常に丁寧で、前搾り↓プレディッピング↓紙タオルでふき取り↓搾乳↓ポストディッピングと基本に忠実に行われています。農場の入り口には石灰散布を行っています。

乾乳牛は全頭全乳房に乾乳軟膏

を入れ、さらに分娩前に乳汁チェックなど行い乳質を確認しています。

今後の目標

後継者の草太さんが酪農学園大学を卒業後に就農し、今年で3年目になります。現在は担当獣医師の下、種付け修行をおこなっています。後継者も育つなかで、清吉さんは今後について、「これからも自給粗飼料生産と自家育成を家族経営でやって行く事には変わりはない。現在後継者がいるので、余裕があればデントコーンを作りたい。酪農情勢が厳しくなっている昨今であるが、飼料の質・牛の質を高めていく事で発展させていきたい」と語ってくれました。

最後に

ヴィクトリアス・ランチの皆様には、一番草の真つ最中の大変お忙しい中、取材に応じてくださり、ありがとうございました。今回取材させていただいた中で基本に忠実な作業の大切さを強く感じました。また、作業だけではなく経営理念も牧場内で共有されており、これこそが当牧場の健全な経営の根幹と感じました。

今後ともヴィクトリアス・ランチの皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

後継者支援活動のイメージ

会報5月号で紹介したとおり、全酪連では4月より「後継者支援チーム(仮称)」を発足させました。今回は、支援活動のイメージのひとつを紹介します。

1 第一段階「牧場のビジョンを作る」

親、後継者それぞれが話し合う場を作り「酪農を通して、何を実現したいのか?」を考えてもらいます。次にその実現に向け、こんな経営をしたいという「ビジョン」の作成へと続きます。これは今後の経営方針や経営戦略の判断基準となる重要なものです。

2 第二段階「実行計画の作成」

経営分析をする中で課題抽出をすることで、ビジョン達成に向けた具体的な実行計画を作成します。計画の実現に向け、本会は必要に応じて技術面やDMSシステムによる計画の進捗確認、計画修正等の支援を行います。

今回紹介した活動のイメージは、あくまでも経営

を中心に置いたひとつの事例です。支援チーム発足初年度の今年は、支援活動を実施しながら活動の充実と体制の整備に努めていく予定です。

後継者支援活動イメージ

第一段階 農家のビジョンを作る

- Step1 夢に気付いてもらう
- Step2 相互理解
- Step3 ビジョン作成

第二段階 実行計画の作成

- Step1 現状の経営分析
- Step2 課題抽出
- Step3 実行計画の作成

北海道 乳牛産地情報

平成25年7月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲.....強含み ▼.....やや強含み →.....横這い ⇩.....やや弱含み ↓.....弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	28~32	→	6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計100.9%、累計で101.7%、苫小牧管内月計で98.1%、累計で98.0%の実績となっております。7月の初妊牛動向は夏本番になることから、都府県需要は大きく伸びることはないものと見込まれます。ホル授精の初妊牛価格は弱含みで推移し、全体では横這いになるものと思われます。また、育成牛及び経産牛につきましても初妊牛価格の影響を受け、同様に横這いで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	47~53	→	
	経産牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~35	⇩	6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.4%、累計で102.6%、中標津管内月計で100.5%、累計で101.0%の実績となっております。7月の初妊牛の動向ですが、9月~10月分娩牛が中心となります。例年の流れで行けば、9月腹弱含み、10月腹強含みで動くものと予想されます。今後の内地の気候が猛暑となれば、暑さが幾分収まる10月腹から荷動きが活発になると予想されます。
	初妊牛	48~55	⇩	
	経産牛	40~48	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29~34	→	6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.7%、累計で101.5%の実績となっております。7月の初妊牛動向につきまして、8~9月分娩腹中心となり都府県の需要も落ち着く時期となります。ホクレン市場も月1回開催となるため、資源は豊富にあるものと思われます。道内の大型農家の購買需要はあるため、相場は横這いからやや弱含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	48~54	→	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	27~32	→	6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で102.8%、累計で102.8%、北見管内月計で101.8%、累計で101.5%の実績となっております。7月の初妊牛動向につきましては、夏の分娩需要は減少し、8月下旬~9月腹中心となります。都府県の需要も少なくなりますが、道内管内では、酪農家の搾乳意欲が強いことから需要もあり、価格は横這いから弱含みで推移すると思われます。
	初妊牛	45~52	⇩	
	経産牛	40~45	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	29~34	→	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は101.5%、累計101.5%の実績となっております。7月の初妊牛動向ですが、9月腹中心となり、7月上旬から8月下旬までは大きな市場も開催されないことから、10月上旬分娩も市場には上場されると思われます。価格的には、ここ数年猛暑の夏が続いていることから、都府県需要は少ない見込です。一方、道内需要は堅調なことから横這いで推移するものと予想されます。多くの牛が放牧されていることから、購買予定がありましたら早めのご連絡をお待ちしております。
	初妊牛	48~55	→	
	経産牛	42~47	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

おねえちゃんみたいにできたかな

今月の表紙は、「第3回酪農いきいきフォトコンテスト」(第41回全国発表大会にて開催)に応募いただいた作品「おねえちゃんみたいにできたかな」(徳島県 古川 真由美氏 撮影)です。お姉ちゃんのお手伝いをしっかり見ているので、将来お手伝いしてくれる日が楽しみですね。



shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

▼今月号ではこどもギャラリーの審査結果と父の日に牛乳(ち)を贈ろう! キャンペーンの活動を紹介しています。こどもギャラリーの絵はとて上手で可愛らしく、ほっこりさせていただきました。父乳活動にご協力いただきました皆様には御礼申し上げます。

▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです

編集後記



平成25年7月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 7月号 No.574

●編集・発行人 中島 裕志郎
 ●発行 全国酪農協同組合連合会
 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号
 TEL 03-5931-8003
<http://www.zenrakuren.or.jp/>



豊富小学校(中部)3年 清水 胡遥

今月の



入賞作品介绍



今月の入選作品は、豊富小学校(中部)3年の清水 胡遥さんの作品です。
大きな眼や耳、画面からはみ出た口など牛さんの顔の特徴が的確に捉えられています。あっさりとした簡素な印象ですが、今にも動き出しそうな躍動感をはらんだ魅力的な絵に仕上がってます。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第40回らくのうこどもギャラリー」で
全国377点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議